

ビジョン検討にあたっての主な論点（素案）

1. 前提となる考え方について

(1) 伝統的な自然観・人と自然との関わりについて

- ・屋久島の人々が自然との関わりの中で培ってきた伝統的な自然観をどのように山岳部の適正利用のビジョンに取り入れるか。

(2) 自然環境を損なわない範囲、方法での利用について

- ・屋久島山岳部の自然環境の価値、重要性について。
- ・「保護か開発か」の時代から「自然体験が及ぼすいい効果と自然への負荷のバランス」の時代にシフト。自然環境を損なわない範囲、方法での自然体験利用や観光利用とすることについて。

(3) 屋久島(山岳部)の魅力、らしさについて

- ・屋久島(山岳部)の魅力、屋久島らしさとは何か。
- ・利用者に何を見て欲しいのか、味わって欲しいのか、伝えたいのか。

(4) 次世代への継承について

- ・次世代への継承をどう位置づけるか。

2. 屋久島山岳部の保護と利用の「目指す姿」について

3. 利用者へのサービスについて

(1) 対象者について

- ・幅広い利用者層への対応について

(2) 質の高い利用体験の提供について

- ・利用集中および利用集中により生じる問題への対処について

(3) 利用施設の整備と維持管理について

- ・利用者の多寡やルート難易度による登山道等整備の考え方について
- ・山岳トイレのし尿処理と携帯トイレについて
- ・登山道浸食、踏圧による裸地化、避難小屋等の老朽化への対応について

(4) 情報提供について

- ・利用者に、どこで、何を、どんな方法で伝えるべきか

(5) 安全について

- ・自己責任と施設等管理者がすべきことについて

4. 利用による自然への負荷軽減について

(1) 利用者が持つべき意識について

(2) 利用者が負うべき義務について

5. ゾーン設定の考え方について

6. その他

(1) 地域住民の山岳部および山岳部利用に対する関心・意識について

(2) 保護地域管理者・施設管理者が持つべき意識と果たすべき責任について